

30年度ペケレベツ岳ボランティア活動による登山道草刈

十勝山岳連盟会長 齊藤 邦明

ペケレベツ山は、手軽に登れる山として、道内外の登山愛好者に親しまれています。平成24年に一度登山道の草刈を実施以来、平成28年に再度予定していましたが8月の台風の影響より接続する日勝峠は封鎖、その後、登山道は2か年使われていなかった。

登山道は笹が繁茂し、訪れる登山者から整備の要望が多く寄せられていた。29年10月調査の結果、登山道は2mを越える笹がかぶり、登山道不明の箇所が数多くあった。

今年度登山者の道迷いや足元の危険を解消するため、十勝山岳連盟が中心となりボランティアを募り、草刈を実施した。

- 1、主 催 十勝山岳連盟 ・後援 十勝地方山岳遭難防止協議会
- 2、時 期 平成30年7月1日（日）8時 ・7月11日9時
- 3、出役者 28名
- 4、場 所 清水町羽帯地先 ペケレベツ岳（1532m）登山道
- 5、内 容 登山口より頂上まで3400m程度の草刈

日程

29年10月30日 第1回登山道調査 笹に雪がかぶり登高困難 L=1100mまで

30年5月12日（土）十勝山岳連盟総会にて計画決定

5月29日 第2回登山道調査 無積雪夏道

6月8日 十勝地方山岳遭難対策協議会において苧払い機刃及び燃料等の資材補助決

6月20日 十勝西部森林管理署に草刈のための入林申請、

6月27日 刈払い機燃料 28ℓ 準備

6月30日 笹苧り用刃 14枚購入、登山道草刈用標識付け、標高1230mの道付け

7月1日（日）24名岳連会員・道岳連会員、入口から L=2900m（標高1398m）

7月11日（日）4名岳連役員有志、残り L=500m頂上（標高1532m）

作業経過

7月1日8時、登山口に24名と十勝新聞記者が集合、メンバーは十勝山岳連盟会員と家族、札幌から明田理事長、佐藤顧問他が駆けつけてくれた。

草刈は、3区3班に分れ、機械15台と燃料・弁当を配布。それぞれの地点に向かった。

登山入口30mから1.5mを越える笹と地面に給水用塩ビパイプ・旧アンカーなど障害物がありピンクテープでマーカーを設置したが草刈に注意を要した。200mほど進んだところから草丈は30cmほどと薄くなり、900m地点から再び1.5mを越える笹が繁茂。

1200m地点からは、登山道が不明瞭となるほど笹が密集、3区までの作業移動に時間がかかった。

2区1010m付近は灌木が密集倒木処理と枝切り、ツツジなど高山計植物が増え、岩場と急斜面を刈進んだ。

3区1240m付近から笹は2mを越え急斜面が続き再び道が不明瞭となる。上部にハイマツが登山道を塞ぎ、安全のため切り開く。笹は太く尾根まで時間がかかる。

4区1343m稜線から登山道は、水平に進みハイマツの根が道を阻む、傷害となる根は切除。ハイマツが濃く道は何度も崖の縁に逃げているため、ネマガリタケが下を向き足元が滑る、初日は500手前で断念。11日役員のみで頂上を目指す、できるだけ足元を苧り払い歩きやすくする。途中岩場が抜け迂回路を切り開き頂上に到達。

ペケレベツ山登山道笹苴り整備

(平成 30 年 7 月 1 日~11 日)



ペケレベツ登山口 805m (日勝除雪センター前)



笹苴り後 24 名



入口より 30m、1 Ⅰ区 L=50m地点



笹苴り後



標高 1,010m 2 Ⅰ区 L=1,000m地点



笹苴り後



1,230m H1.5m 尾根近く踏み跡不明



笹苴り後 14:30 L=1,900m 地点



4 工区 稜線上 標高 1343m



笹刈り後 L=2,500m 地点



頂上 500m 手前 (標高 1398m/1532m)



笹刈り L=2,900m 地点 7 月 1 日



7 月 11 日 山頂・標高 1532m L=3,450m 地点



L=2,900m から 4 名で苅払い



十勝平野芽室方面



L=2,400m からペケレベツ方面を望